



SURESHOT

IRONY RIDER

文・写真=渡辺まこと text&photographs by MAKOTO WATANABE
取材協力=シェアショット phone 043-445-0077 <http://www.sureshot.jp/>

市販車初のキャストホイールの採用や前後に装備されたディスクブレーキ、そして何よりそのデザインから1977年に登場すると共に爆発的な人気を誇ったモデル、FXSローライダー。現在もこの車両は高値取引され、改造は御法度という扱いを受けるのだが、ここに紹介するマシンは、まさにその人気車ベース。純正スタイルに惚れ込んだオーナーの要望に応え、イメージこそ残されているものの、しかし、各部は徹底して手が増えられた一台となっているという。

たとえばこのマシンに施されたモデファイメニューを羅列すると、シャフトを加工することでネックが3度起こされたフレーム周りはもとより、タンクやフェンダー、シートなど外装パーツもすべて変更されており、バランスを徹底して追求。その内容は紛れもないフルカスタムであり、純正スタイルを盲目的に賛辞する風潮に対してビルダーの『本当にそれがベストなのか?』という問いかけが込められている。目指すのは純正以上の完成度……まったく皮肉な一台だ。



1ー見るとストックに見えるタンクも、その裏ワザオフ、アーリーショベルのソレと同じく、外殻がフロントからリアに向いシフトされている。2リアフェンダーは純正を加工し、コンパクトにリメイク。フェンダーストラットもワゴンオフ、である。3プライマリーはBDL製のエッジを取り加工。純正と同色のペイントがニクイ。



ネックシャフト加工で純正より3度起きたFフレーム。数々の隠し技が冴える一台だ。